

全国大会 向こうに見えるもの



弓道の競技人口日本一といわれている愛知県。その中で活躍著しい町内3中学校の部活動と、弓道連盟を2月に訪ねました。

幸田町弓道連盟は、会員数50余人が、本多政和会長（範士八段）渡邊百世さん（七段）を師範として、生涯スポーツ、町の武道競技力、伝統の継承をめざし活躍しています。

正射必中 南部中学校

部員数 54人
競技会 平成22年東海大会
団体女子優勝

顧問・山本先生の話

- ①弓の魅力は、一連の所作の瞬間。自分の世界に入れること。
- ②指導方針は、「正射必中」。正しい射が的中につながる。
- ③目標は全日本武道錬成大会。

大竹部長（男子）の話
村越部長（女子）の話
①南中の弓道場は、山に囲まれ



南部中学校 弓道部

小鳥の音が聞こえる。楽しい時、苦しい時、いつも一緒になって指導してくれる先生に感謝している。

- ②男子の目標は、県大会の入賞。
- ③女子の目標は、全日本武道錬成大会。

魅力は立禅 幸田中学校

部員数 66人
競技会 平成7年・同20年度に
女子の部で全国優勝

顧問伊吹先生の話

- ①魅力は、立ち姿で禅の世界を体感できること。
- ②指導方針は、個性に合わせた育成。助け合い・努力の大切さを意識している。
- ③目標は、全国大会優勝。



幸田中学校 弓道部部长

芝部長（男子）の話
中学に入り初めて弓道を見た。そのとき「これだ。」と感じた。

山口部長（女子）の話
精神的に強くなりたい。楽しさは、皆で型を教え合うこと。

一射集中 北部中学校

部員数 男子21人
競技会 平成23年度全国大会
（武道館）敢闘賞受賞

顧問・橋本先生の話

- ①魅力は、努力して射が改善されたときの達成感。
- ②指導方針は、日々の生活を正しくする。基本は静かに集中すること。（一射集中）

梶部長（男子）の話

弓は集中力を養える。全国大会をめざして家では、ゴム弓によるイメージ練習をしている。



北部中学校 弓道部

弓道 目標は 塚(あずち)の



本多会長



幸田町弓道場の霞(かすみ)的

的は己の心にある
幸田町弓道連盟

練習は、中央公園内の弓道場で月曜日を除く毎日、おこなわれている。

会長の本多さんは、全日本選手権で優勝5回の実力者。

渡邊さんは、全日本遠的選手権で優勝2回の経歴を持っている。

本多会長の話

「静寂の中の躍動感」

「的は仁」弓道の素晴らしさは、礼儀・挨拶・集中力・思いやり

と人の生き方を勉強できる。

①魅力は、静寂の中、離れの瞬間の躍動感にある。

会員の最高年齢者は、83歳で

あり年令を問わないことも素晴らしい。

②指導方針は、吉見順正の「射法訓」である。

父である左手(弓手)と母である右手(妻手)の和合、

片思いでは子(矢)は育たない。

弓手と妻手、身・心・弓の和合で矢は的中たる。袴姿に

あこがれて始める人も多い。

弓は袴姿の日本文化である

から、伝統を守り継承しなければならぬ。

的の中にしようと思つと中たらない。「的在己心」

※塚とは
矢を受け止めるための土盛り

③目標は、会員から全国に通じる選手を育てること。



幸田町弓道連盟

渡邊百世さんの話

「弓道は精神的格闘技」

遠的競技は、距離60m、的の直径は1mに設定されている。

最近の話題としては、女性部

員から「弓を始めてから姿勢が

よくなった。」との喜びの声がある。

心に残る言葉は、全日本女子

優勝者・仰木洋子さんが、マスコ

ミ取材で心境を語った「塚※の向

こうに宇宙が見えます。」との言

葉です。弓道は宇宙との融合を

理想とします。

アンケート結果	弓道の魅力・素晴らしさ 年齢を問わない。静寂の中の躍動感。基礎訓練が実る。課題が多く飽きない。心の鍛錬。静かな集中力。仲間と一緒に。心と体が向き合う。
	目標・夢 全国に通じる選手が育つこと。精神力の養成。全国大会。素直な稽古。継続すること。人間完成。人の心をいやす。「秘密の花園」をつくること。
	議会広報の感想 文字が大きく見やすい。写真が多く読み易い。写真と文章の併用がよい。写真がきれい。広く浅く多くの情報。
	議会・議員に望むこと 住みやすく安全なまち。健康と活気。活性化。魅力あるまち。運動促進。災害対策。すてきなまち。実行力。精神保健福祉。

取材・アンケートのご協力に感謝とお礼を申し上げます。

お詫びと訂正
143号に掲載しました人権擁護委員は、杉浦真里氏でありました。